

2022年4月26日

～“全国の銀行で初！・SDGs 推進にも貢献”～ 当行キャラクター「ワンク」をデザインしたオリジナルグッズの販売について

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、2022年6月から、当行キャラクター「ワンク」をデザインしたオリジナルグッズ（以下「ワンクグッズ」）を販売しますので、お知らせします。

ワンクグッズは、大変ご好評をいただいております。「是非気軽に購入したい・利用したい」という多くのお客さまのニーズにお応えするため、第一弾として8種類の文房具用品を一般小売店とWebサイト上（当行が運営に関与）で販売します※1。

なお、銀行が営利事業として銀行のキャラクターをデザインした商品販売することは、**全国の銀行で初めての取組み**です。銀行収益の一部は、2021年4月に立ち上げた「ワンクのSDGsプロジェクト※2」の一環として、地域の子ども食堂や社会福祉団体等に寄付します。

当行は、お客さま起点の“One to One ソリューション”の提供に努めるとともに、持続可能な社会の実現を目指したSDGsへの取組みを推進してまいります。

※1 提携業者が販売主体となる場合もあります。

※2 「ワンクのSDGsプロジェクト」とは、当行がワンクグッズの製造販売業者から得る「ワンク」の使用許諾料を、SDGsへの取組みとして、社会福祉団体等に寄付するプロジェクトです。

記

1. 販売するワンクグッズ

<第一弾>

第一弾として販売するワンクグッズは、当行が開催している「お金のがっこう※3」や各種イベントなどで子どもたちから人気のある文房具用品です。



①鉛筆：374円



②ペンケース：748円



③クリアファイル：352円



④消しゴム：198円



⑤メモ帳：308円



⑥シャープペンシル：418円



⑦下敷き：528円



⑧マスキングテープ：715円

（以上、税込価格/予定）

※3 「お金のがっこう」とは、当行の本部や営業店が、子ども向け金融リテラシー教育支援の一環として、お金の価値や役割、銀行の仕事などを伝えるために開催しているワークショップです。

<第二弾>

その後のワンクグッズの展開（第二弾）として、海洋プラスチックを再利用して作られる素材を活用した商品などSDGs達成に向けた“ソーシャルグッド※4”な商品の販売を予定しています。

※4 ソーシャルグッドとは、地域環境や地域コミュニティなどの「社会」に対して良いインパクトを与える活動や製品、サービスの総称です。

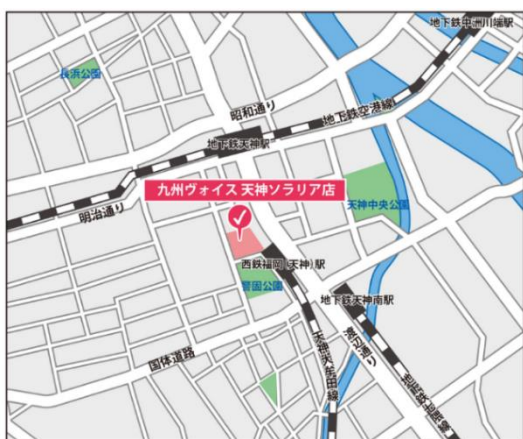
2. ワンクグッズの販売方法

(1) 一般小売店での販売 (2022年6月から販売開始)

ワンクグッズは、一般小売店の第1号店として、天神ソラリアプラザ（福岡市中央区）に入居している「九州ヴォイス天神ソラリア店」で販売し、今後は複数店舗での販売も計画しています。

店名	九州ヴォイス 天神ソラリア店
運営	一般社団法人福岡デザインアクション [FUDA]
所在地	福岡県福岡市中央区天神2丁目2-43 天神ソラリアプラザ B2F
特徴	九州産品の中でも特にデザイン性が高く、地域性に優れた魅力ある商品を選びすぎり、販売している。
H P	https://kyushu-voice.net/

(注) 九州ヴォイス天神ソラリア店の開店時間など詳細は、上記九州ヴォイスのホームページをご確認ください。

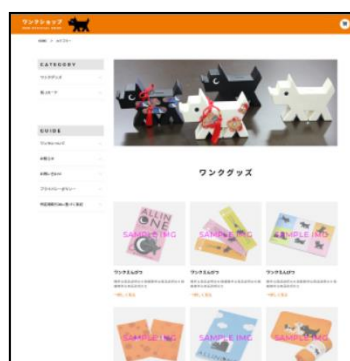


(2) Webサイト『ワンクショップ』での販売 (2022年6月から販売開始)

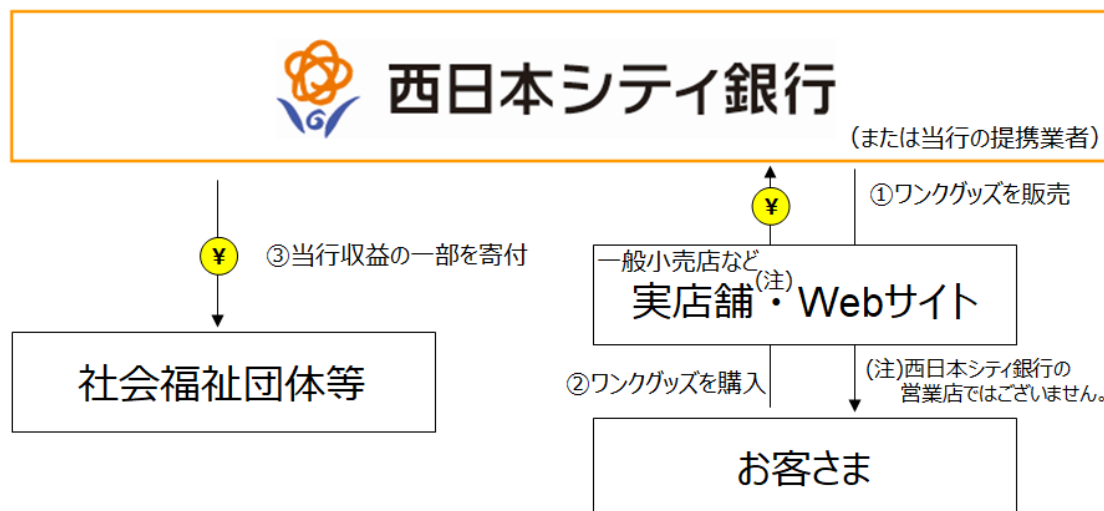
Webサイトとして、「ワンクグッズ」販売専用のサイト『ワンクショップ』を立ち上げます（当行が運営に関与）。

お客さまは「ワンクショップ」にアクセスすることで、全国のどこからでも・いつでも「ワンクグッズ」の購入手続きができます。入金（資金決済）確認後、約1週間程度でお客さまのお手元に商品をお届けします。

<ワンクショップのイメージ>



3. 販売スキーム



- ① 当行（または当行の提携業者）は、一般小売店など実店舗や Web サイトで「ワンクグッズ」を販売します。
- ② お客さまが一般小売店や Web サイトで「ワンクグッズ」を購入します。
- ③ 当行は子ども食堂や社会福祉団体等に収益の一部を寄付します。

参 考

<ワンクについて>

- ・ワンクは、当行の商品であるオールインワンカードのカードフェイスキャラクターとして 2006 年に誕生しました。
- ・2015 年 11 月以降、当行および西日本フィナンシャルホールディングスのキャラクターとして、各種ポスター、チラシ、カレンダーなどさまざまな場面で活躍しています。
- ・最近では、地元企業とワンクのコラボにも取り組んでいます。

<2021年度の使用例>



<2022年カレンダー>



<地元企業とのコラボ>



以 上

本件に関するお問い合わせ先
 広報文化部 渡・近藤 092-461-1869